

主催事業紹介

「小林カレッジ」

- 第5回 9月 9日(土) 「オーレ フラメンコ鑑賞」 21人
第6回 10月14日(土) 「ちょっと早めの古い支度～エンディングノートを書いてみよう～」 19人
第7回 11月11日(土) 「貯筋でケガや病気を吹っ飛ばせ!」 21人
第8回 12月 9日(土) 「われら郷土を創る ～草深開村350年 開拓の槌音が聞こえる!～」 21人

小林カレッジ5回目は、外国文化に触れることを目的にフラメンコを鑑賞しました。フラメンコはスペイン南部のアンダルシア地方に伝わる芸能で、歌、踊り、ギター伴奏が主体となるスペインを代表する文化です。地元小林のコスモプラザで活動している「アンダルシア」のメンバーをお招きして披露していただきました。代表の伊藤氏はスペインで本場のフラメンコを学んできた方で、受講者はアンダルシアのみなさんのすばらしい



フラメンコに感動していました。



6回目は「終活」をテーマにエンディングノートについて学びました。ノートを作っておくことで医療や介護、相続のことで家族の悩みを軽減できたり、手続きがスムーズにできるという効果があるそうです。また、「リビングニーズ」という制度についても紹介があり、とても勉強になった2時間でした。

7回目は小林公民館で活動している「小林貯筋サークル」のみなさんと一緒に、印西市として推進している「貯筋運動」を行いました。この運動は誰にでも無理なくできる6種類の筋力運動で、おもりをつけて唱歌を歌いながらゆっくりと体を動かします。終わった後「ああ、楽しかった(笑)」という声がありました。



最後は小林公民館大河館長による草深の歴史



講義です。開墾からの歴史が詳細にわかっているのは印西市では草深だけだそうで、郷土をつくってきた先人に思いを馳せました。その後、修了証書をおわたしし、今年度の小林カレッジは閉講となりました。